

減法混色による画像の分解

減法混色の概念に基づき写真をCMYに分解して色情報の変化をみることができます。

ここでは1枚の写真をC(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の色の三原色へ複製分解します。

分解した写真のインクの濃さごとに見ることができます。

テンプレートの起動方法

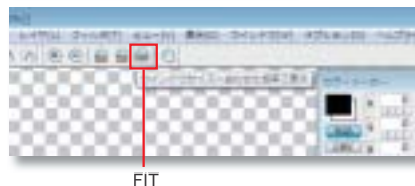
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」「デジアート7SE」「学習用テンプレート」から「減法混色による画像の分解」を選択します。
- 3 「減法混色による画像の分解」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- 4 テンプレートが起動したら「最大化」をクリックし、画面を最大化します。

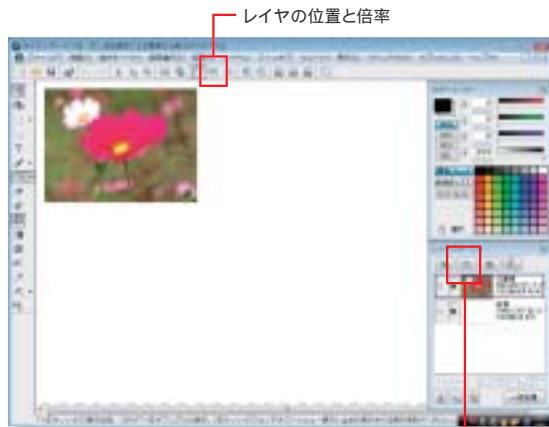


- 5 ツールバーの「FIT」をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。



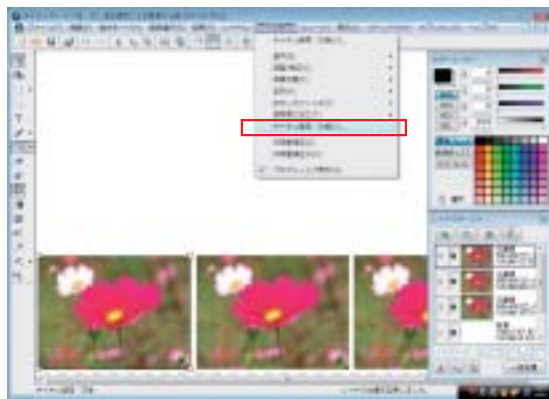
操作手順

- ❶ ツールバーの[レイアの位置と倍率]をクリックしレイヤマネージャの[元画像]のレイヤを選択します。
- ❷ レイヤマネージャの[アクティブレイヤの複製]を2回クリックし、元画像を3枚に増やします。
- ❸ 複製した[元画像]を3枚横に並べます。並べる際、レイヤをレイヤマネージャから選択し、ドラッグをして移動します。
- ❹ 元画像をシアン(C)に変換します。[レイヤマネージャ]で元画像を1枚選択しメニューバーの [フィルタ] から[チャンネル複写・交換]を選択します。[パラメータ設定]が表示されます。



レイアの位置と倍率

アクティブレイヤの複製



アクティブレイヤの複製

- 5 パラメータ設定の[コピー先のチャンネル]のサブウィンドウから CMY を選択します。

- 6 色の調整に入ります。

シアン(C)の罫線を残し(M)と(Y)の罫線を一番右の固定値の下までドラッグをして移動します。設定が終わったら OK をクリックします。

このとき、『固定値』が『0』になっていることを確認してください。

- 7 次はマゼンタ(M)へ変換します。

[レイヤマネージャ]から2枚目の元画像を選択し、4~5の工程を行いません。

(M)の罫線を残し(C)と(Y)の罫線を一番右の[固定値]の下までドラッグして移動します。設定が終わったら OK をクリックします。

- 8 イエロー(Y)への変換も同じ工程になります。(Y)の罫線を残し(C)と(M)の罫線を一番右の[固定値]の下までドラッグして移動します。

- 9 分解したCMYを[減法混色]にします。

レイヤマネージャのシアン(C)のレイヤの上でダブルクリックします。

[レイヤ設定]のサブウィンドが表示されます。

[合成表示]から、『減法混色』を選択します。

この ~ の作業をマゼンタ(M)とイエロー(Y)の画像にも行い分解が完成です。



CMYを選択します。

